

二)

鈴江言一

第三種補給生

H-0508

0068

公	信	案
学之在る学業も、蹟当方事務取扱 取扱上承知致度、付成、ハ詳細 即而報相煩度、以段、以依頼申進、不		
外	務	省

51/ (郵)

文書課長	文書課發送 昭和九年四月拾七日發送済	淨書 (太田)	正校 (原稿)	(淨書)
管主	文化事業部長了	任主	第一課長	
表	普通密 第三十四號	昭和九年四月拾七日附	附屬	
受信人	明治大学總長	坪上文化事業部長		
名件	中途退学生学業成績照會件	名件録記		
公	信	案		
大正九年貴学政治経済科本科 二年中途退学生之、鈴江吉一、貴				
外	務	省		

17 29

H-0508

0069

H-0508

0070

51 /

天

明治

文化 9.4.20 寄附部

文化事業部

第一課

昭和九年四月廿日 接収

大

教收第二七號

昭和九年四月十八日

明治大學總長 木下友三郎

外務省文化事業部長 坪上貞二殿

半退學生學業成績照會ノ件

昭和九年四月十七日付文化一機密第三六四號ヲ以テ御照會相成

候首題ノ件左記ノ通りニシテ學業成績ナルモノ無之候條此段及

回答候也

左記

一科別及氏名	專門部政治經濟科別科	鈴江言一
一入學年月日	大正七年四月十五日	
一除籍年月日	大正八年三月五日	
一除籍理由	月謝滯納	
以上		

學大治明

明治大學印

北平

三月三日

は(イ)

拜啓

只今ハ大教拜受且亦御無理ナル御願尊納被下事御芳情感銘候
御下命ニヨリ要點左記候間何卒吳々モヨロシク願上候

1、名稱

鈴江言一(年三十八)

2、研究題目

民風發展史

前清末期ヨリ現代ニ及フ支那社會變遷ノ全形的ノ沿革的考察

3、要求額

五拾圓ヨリ百圓

4、期間

外務省

7.6

は(イ)

二ヶ年

5、學歷

確カ私立大學ノ卒業生ト存シ候ヘト支那語以外英文ハ勿論獨
佛書ヲモ善讀シ著書トシテハ改造社出版ノ孫文傳、社會科學
辭典中ノ支那ニ關スル項目

千羊ノ~~並~~ハ一狐ノ腋ニ不如、何卒宜シク願奉候 敬具

二月二十一日

吉 田 賢 臺

吉 田 賢 臺 侍前

二伸
六日早朝九時前後ニ拜趨仕可候

外務省

7.6

H-0508

0071



文化事務部

機密第一九四號

昭和九年三月三十一日

在中華民國日本公使館

公使館一等書記官 中山 詳



別紙添附

昭和九年四月拾壹日

外務大臣 廣田 弘毅 殿

鈴江言一ヲ在支第三種補給生ニ採用方
稟請ニ關スル件

本件ニ關シ詮議ノ必要上同人ノ履歷書研究題目及方法身體檢查書等
送付方御電示ノ趣敬承依テ別添ノ通同人提出ノ一件書類送付スヘキ
ニ付可然御取計相成度

在中華民國日本公使館

H-0508

0072

身體検査書

昭和十九年十二月三十一日生

一、體格

矯性

一、身長

九十八センチ

一、體重

十九歳五五

一、胸圍

八五CM

盈虚ノ差 7cm

一、中心視力

正

色盲

眼疾

一、聽力

並

耳疾

川田醫院用箋

一、呼吸器

由

一、神経系

由

一、皮膚

由

一、言語

並

一、既往現在ノ疾病又ハ畸形

右検査候處相違無之候也

昭和十九年三月三十一日 検査

北平川田醫院

醫師 今村 俊 廉

(一) 研究題目並ニ其方法 (履歷ニ関スル答申御要求ニ對シ
尤、如ク御答ヘ仕リ候。

昭和九年三月三十日

鈴江言一

一、研究題目並ニ其方法

「清末史」 但、コレハ支那現代史、第一部トシテノ
清末發展史ニシテ、ソノ又所謂「發展」トハ Evolution
ニハアラス Evolutionary ラ意味ス。 研究ノ方法ハ
一言ニ云ハ、本研究、内容ヲ「外來勢力」ノ接觸以來
、支那ノ政治的、經濟的及社會的變遷ノ歷史的記
述並ニ説明」ト為ス点ニ在リ。

二、履歷

イ 本籍 東京、日本橋區小網町三丁目番地 (戸主無家族)
ロ 年齢 三十九歳

ハ 學歴其他 大正九年夏明治大學政治經濟
科本科二年ニテ退學、渡支。 爾來引續
キ專ラ北平ニ居住シ、支那史及支那近世社
會事情ノ研究ニ從事。

寫

昭和九年三月二十一日

石橋部長

弓野署長殿

身許調査ニ關スル件

本籍 東京市日本橋區小網町四丁目三番地戸主

現住 北平東城貢院西大街九號（大石槽七號寄寓中）

著述業 鈴江言一

明治二十八年十二月三十一日生

右ノ者ニ係ル身許ニ關シ依命調査スルニ左ノ如シ

一、大正八年明治大學ヲ中途退學シテ來燕シ日刊新聞「新支那」ノ記者トナリ同十年十二月迄在社セルカ當時ヨリ支那事情ノ研究ニ多大ノ興味ヲ有ツニ至リ「新支那」社退社後、^{國家}通信支局、華北正報

在中華民國日本公使館

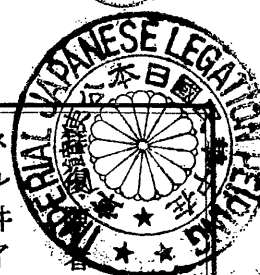
坪上文化事業部長殿

昭和九年三月二十三日

中山一等書記官

三月二日附御來示ニ係ル鈴江言一第三種補給生採用方ニ關スル件了承致候取調ノ結果事實人物優良思想穩健ニシテ眞面目ナル研究家ナルニ付採用方可然ト存セラレ委細ハ別紙警察報告書ニ依リ御承知相成度此段回答申進候 敬具

在中華民國日本公使館



文化事業部

第一課



昭和九年四月六日 別紙添附

大田

H-0508

0075

社、滿鐵等ノ囑託トナリテ研究ニ没頭シ其ノ間英、佛、獨等ノ語
學ヲ修メツツ獨力勉學ヲ續ケテ今日ノ素地ヲ作レルモノナリ
ニ昭和五年夏著述刊行ノ爲一時歸國セルカ其ノ間ニ於テ社會科學大
辭典（改造社）ノ支那關係部門ヲ完成シ更ニ孫文傳（改造社）等
ヲ著シ旁雜誌「改造」等ニ支那關係ノ論文ヲ執筆セリ
三、昨春豫テ著述ヲ企圖セル中華民國發展史ノ資料蒐集ノ爲上海ニ赴
キ同地ノ圖書館ヲ漁リテ之カ資料蒐集ニ努力シ昭和八年十月更ニ
當地ニ歸リテ清朝末期史ノ著述資料蒐集ニ没頭シツツアリ
四、目下著述ヲ急キツツアルハ前述中華民國發展史ノ一部タル現代史
ヲ著スニ方リ其ノ第一歩トシテ非形式上の立場ヨリ清朝末期史ヲ
執筆セムトシツツアルモノノ如シ
五、本名ハ純然タル學究的人物ニシテ品行方正思想穩健常ニ孜々トシ
テ其ノ研究ニ没頭シツツアリ當地學界ニ於テ稀ニ見ル篤學ノ士ナ
リ
以上ノ通ニシテ文化事業部補給生トシテハ當地無二ノ好適人物ナリ

在中華民國日本公使館

ト思料ス
右復命候也

在中華民國日本公使館

H-0508

0077

3.29	
電送第 4863 號	
昭和9年3月24日 4時50分	
主 管 文化事業部長	主 任 第一課長 (起草昭和九年三月廿八日)
件 (鈴江言ノ復原ノ件)	名 込 綴
宛 在北平 中山書記官	發 廣田大臣
略 号 第二五 號	
貴電第一二四號ニ関シ	
坪上ヨリ	
鈴江ノ復原書、研究題目及方法、身躰検査書、鈴銑衛上必要ナル	
ニ付速ニ送附方取計ハレタシ	
電 信 案	外 務 省

電信課長 28 8

(原議用紙甲)

H-0508

0078

寫送先

大臣 次官
電信課長
亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

收
9.5.12
海

昭和9 六二八〇 暗
北平 本省 4. 4
三月廿七日 前後發
文化
中山書記官
廣田外務大臣
第一二四號
坪上部長へ
三月二日附貴信ニ關シ
鈴江ハ人物優良思想穩健眞面目ナル研究家ニ付第三種補給生ニ採用
方至急御詮議ヲ請フ

外務省

太田

公 信 案	外 務 省	中江氏大快し通し中江氏民より 別家書綴家一紙申出ありと復 重部より人知像良思ふ様便 果爾目も研究なりと於ては申出 二年前研究書補助より一筆は貴地 中江氏研究より一筆は貴地 中江氏研究より一筆は貴地 中江氏研究より一筆は貴地
-------------	-------------	---

公 信 案	外 務 省	5.5 親展 文書課長 文書課發送 昭和九年三月五日 主 任 第一課長 半信 北平日本公使館 中山書記官 鈴江言一ニテ照属一件 陳省貴也在任鈴江言一	名 人 信 受 北平日本公使館 中山書記官 名 人 信 發 文部省 坪上部長 名 件 録 記	昭和九年三月一日起草 正校 (原稿) (浄書) 別紙
-------------	-------------	--	---	---

3 10

H-0508

0079

H-0508

0000

公
信
案

外
務
省

前記ノ諸事ニ付シ詳細ニ御調一上
結果至急ノ回報ヲ賜フ此ヲ以テ
終リ

(申上ル者付来信厚クノ御添付ノコト)

文化
9.3.23
事業部

文化事業部

第一課乙

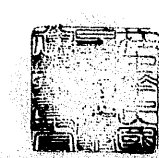
昭和九年三月廿三日

機密第一五二號

昭和九年三月十四日

在中華民國日本公使館

公使館一等書記官 中山 詳



外務省

文化事業部長 坪上 貞二 殿

鈴江言一ノ研究費補助方ニ關スル件

今般當地在住ノ中江丑吉ヨリ同人ノ友人ニテ當地在住ノ鈴江言一(三十八歳、改造ニ屢寄稿シタルコトアリ尙單行ノ著書トシテハ孫文傳アリ)ハ民國發展史ノ研究ヲ志シ西洋文明民國ニ輸入後ニ於ケル支那ノ社會的發展ノ經過ヲ政治經濟等ノ特定ナル見地ヲ離レ全系的立場ヨリ研究シ度大体三卷ニ分チ脱稿スル豫定ニテ其ノ第一卷ノミニ

在中華民國日本公使館

テ二年ヲ要スル見込ナル所其ノ間生活ノ爲單著若クハ雜誌寄稿等ニ貴重ナル時間ヲ割愛スルコトヲ避ケ度希望ナルニ付テハ研究事項ノ性質ニ鑑ミ文化事業部ヨリ大体毎月金百圓ノ見當ニテ補助ヲ願ヘ間敷キヤトノ旨伺ヒ出テ來レリ尙同人ノ實狀ヨリ見レハ補助御支給ノ場合ハ本年三月分ヨリ御支出相成ルコトヲ得ハ極メテ好都合ナル模様ナリ
右ノ狀況ナレハ御詮議ノ結果ハ電信若クハ成ル可ク速カナル方法ヲ以テ御回示ヲ得度

在中華民國日本公使館

H-0508

0001

5.7 (山)

電送第 7345 號

昭和9年5月4日 時30分

文化事業費

5. 5

電 信 案	主 管 文化事業部長	任 主 第一課長	起 草 昭和9年5月4日	4 3
宛 在 北 平 市 公 使 館 中 山 参 事 官	件 在 支 第 三 種 補 給 生 内 定 一 件	名 込 綴	發 廣 田 外 相	
平 報 第 五 三 號	第一七二号 貴電ニ関シ			
ス ズ エ	鈴 江 ヲ 在 支 第 三 種 補 給 生 ト シ テ 年 間 月 額 金 百 円 ヲ 補 給 ス ル ニ 定 セ リ			
外 務 省				

H-0508

0002

H-0508

0003

寫送先

會文文人情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

次大臣
官

電信課長



57



大關

昭和9.4.21 八〇八七 略

北平 本省

四月二十日後着

文化

廣田外務大臣

中山書記官

第一七二號

三月三十一日附機密第一九四號拙信ニ關シ鈴江ニ差迫リタル都合モ
アリ採否ノ結果御回電ヲ請フ

外務省

拝啓

去る三月中中江氏より

貴下好意の下に文化

會の補助云々の件進

行中、旨承り、自ら其

資格と之を顧み縮

致し居り、素外、更らば昨日

中江氏を通じて事件許可

の旨通知、相接し申素

実、と思生、とりて望外

の喜ひ、此に在素

周より純才のことも微

研究の内容を以て、好意

の方、其に得られやうな

ことは、其考方申素

素も、只最善の努

力を致し、素のみにて、

美濃牛紙野紙(1)

務省

(11. 5)

H-0508

0004

のまきひの庄矣
周^{しゅう}純^{じゅん}才^{さい}の^{こと}微^みなる
研究^{けんきゅう}の内容^{のよう}を以て好意^{こうい}
の方^の一^{いつ}、悉^{しつ}に得^えられやうな
いとは夢^む考^{こう}申^{まう}さず
矣^やも、只^{ただ}最^{さい}善^{ぜん}の努^ど
力を致^{いた}す一^{いつ}点^{てん}のみでいさ
かなうも此^こ應^{おう}申^{まう}上げ
度^どき決^{けつ}意^いに此^こ庄^{じょう}矣
未^まだ拜^{はい}眉^{めい}・弟^{てい}もなき、
身^みを以て直^{ちく}接^{けつ}に接^{けつ}
せ申^{まう}上げは甚^しだ僭^{けん}
越^{えつ}と存^{ぞん}じ矣^やもろーと云^いふ
は禮^{れい}申^{まう}さ度^ど、斯^{この}
やうは庄^{じょう}矣

敬具

五月

矢江言へ

浪半紙野紙(1)

(11. 6)

H-0508

0085

レハ勢ヲ考ル申テ
矣モ、只最善ノ努
力ヲ致ス一兵ノみでいさ
かナリモ此應へ申上げ
度キ決意ハ此座矣、
未だ拝眉・弟もなき、
身を以て直接に候
様申上げは甚だ僭
越と存じ矣モウーと云
ハ禮申上げ度く斯の
やうハ座矣

敬具

五月廿

鈴江言へ

文化事業部長
坪上貞二殿

美濃半紙野紙(一)

H-0508

0086

度き決意に在座矣
未だ拝眉・糸もなき
身もいへ直接に候
杉申上りには甚だ僭
越と存じ矣もう一と
い禮申上り度く斯の
如くは座矣

敬具

五月廿

矢江言一

文化事業部長
坪上貞二殿

美濃半紙野紙(一)

外務省

(11. 5)

H-0508

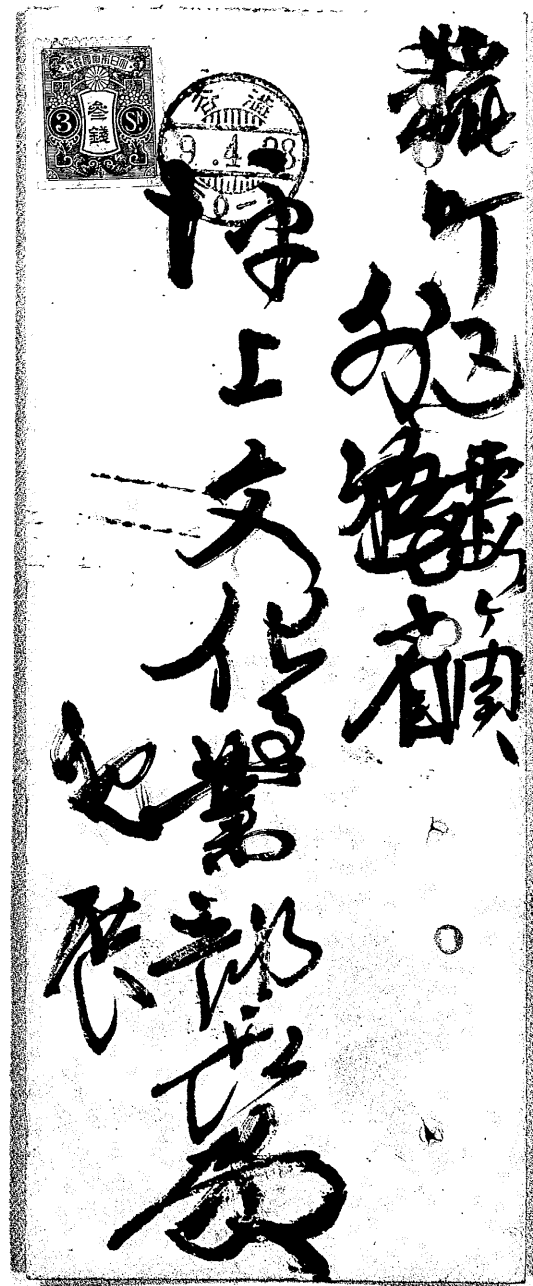
0007

修

中江且もやあそ

光澤の例の鈴江言一君の件は関し
南地公使館より非常の好意ある推せん
者之にも不拘其後亦亦方面より何
等の挨拶無く停滞致居候然りと鈴
江君の退去は改定中央の論争は表したる
論文、青年吏僚諸君の忌避は觸れ議論起
りつゝあるものと想像被致候 責任を以て

中江と通つて此回の著書は純然たる学問的
目的より書かれたるものと見ざるにアリスチックを一切
凌駕したるもの、其故は主として極力援助しつゝある
所以といへど官廳の見方は又官廳としての理
由もある事故亦不に得る次第と臣侯、只外
務省方面他視をとりれば別々金事講究五人と
是れ其の望と貫成被致度就には至急可
成何よりと知悉致度存し局甚々悲痛
坪上氏より、あせり使館に石山渡り被下る
様は懇話手紙中上候



H-0508

0009



H-0508

0090

和
子就少生信也
省中後讀心
山金學也
甲子年
海上志

H-0 5 0 8

0091

公	信	案
支給するトシ該金ハ昭和九年ハ對支文化事 業特別會計事業費ノ項留學生給與ノ目 資金前送トシ送金ニ付本人ハ轉交 相成、高女ノ學費ハ今迄貴館宛送付 ニ付右ノ即了知相成、以段中 達ス		
外	務	省

文書課長 文書課發送 昭和九年六月拾壹日發送済 主 管 文化事業部長 了 主 任 第一課長 昭 和 九年六月拾壹日 附 附屬 正校(原稿) (淨書) 昭和九年六月七日起草		主 件 在支第三種補給金 鈴江言一ノ學費支給ノ件 名 人 在支平 帝國公使館 若杉書記官 名 件 録 記 廣田外務大臣
第二課 昭和九年四月五日 金井首園也		11/22

H-0508

0092

57



文化事業課

第一課



昭和九年五月廿六日



在支第三種補給生推薦書

鈴江 言一

右者豫テ中華民國北平ニ於テ清末史ノ研究ニ從事シ居ル處其ノ人物
學識共ニ卓越セル者ナルニ付貴部在支第三種補給生トシテ御選定下
サレ度此段推薦致候也

昭和九年四月 日

右

東京市澁谷區代々木山谷百十番地

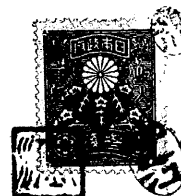
瀬川 淺之進

外務省文化事業部長 坪上貞二殿

H-0508

0093

濟北事存



誓約書

私儀在支第三種補給生ニ選定セラレ候ニ就テハ在支第三種補給生規程ヲ遵守シ萬一同規程ニ依リ學費等ノ償還ヲ命セラレタル場合ニ於テハ本人及保證人連帶ノ上速ニ償還致スヘク此段誓約候也

昭和九年 月 日

原籍 東京市日本橋區小網町三丁目四番地
現住所 中華民國北平市東城貢院西大街九號

鈴江言



保證人

原籍 岡山縣吉備郡足守町
現住所 東京市澁谷區代々木山谷百拾番地

瀬川淺之進

文久元年六月廿八日生

保證人

原籍 東京市小石川區民場町七七
現住所 中華民國北平市東城貢院西大街九號

中江田

明治廿二年八月十一日生

外務省文化事業部長 坪上貞二 殿

H-0508

0094

身分證明願

東京市日本橋區小網町丁目四番地
戸主 鈴江 言一

一、別金取上ノ制ニ処セラルコトナシ
一、破産又ハ家財没入ノ宣示ヲ受ケルコトナシ
右通り相違無之旨ハ証明スル也

昭和九年六月四日

右願人

鈴江 言一

日本橋區長川口寛三殿

右証明ス

昭和九年六月四日

東京市日本橋區長川口寛三



公 信 案

外 務 省

鈴江言一補給期間延長許可
 在、對昭和十一年三月迄繼續補
 給するに決定致したるに付、所了知、上
 記の如く取計相成る此段回答申進ス

第二課

文書課長

文書課發送 昭和拾年貳月八日 發送済

主 管 文化事業部長 第一課長

受 信 人 在 北 平 常 駐 公 使 館

名 件 在 支 第 三 種 補 給 金 鈴 江 言 一 補 給 期 間 延 長 申 請 件

在 件 之 周 知 案 年 十 月 五 日 附 機 密 才 也

公 信 案

外 務 省

廣田外務大臣

昭和十一年二月六日

7 100

H-0508

0096

清長手



文化事業部長 第一課

機密第七八三號

昭和九年十二月五日

在中華民國日本公使館

公使館一等書記官 若杉

別紙添附

昭和九年三月拾八日接受

文化 第二課

外務大臣 廣田 弘毅 殿

第三種補給生鈴江言一ノ留學期間延長ノ件

當地留學中ノ第三種補給生鈴江言一ノ留學期間ハ昭和十年三月ヲ以テ滿了（昭和九年四月以降一ケ年）ノコトトナリ居ル處今般同人ヨリ別添文化事業部長宛補給期限延長願轉達方申出アリ查スルニ同人ハ目下前記願書附屬ノ報告書ニモ記載ノ通銳意「清末史」ニ關スル資料ノ蒐集竝筆字ニ從事シ居ルモノナルカ尙多數ノ重要ナル文獻ノ

在中華民國日本公使館

涉獵筆錄ヲ要スル趣ニテ之ヲ半途ニシテ中止セシムルコトハ如何ニモ残念ナルニ付本人願出ノ通引續キ一ケ年留學期間ノ延長ヲ許可セラルル様特ニ御詮議相煩度此段轉達旁右稟申ス

在中華民國日本公使館

H-0508

0097

補給期限延長願

第三種補給生 鈴江言

別紙報告書第四及五項に申述候事項完成
の必要上來、三月末を以て終、補給期限、延
長御許可相成度此段御願に及候

昭和九年十二月一日

對支文化事業部長岡田兼一殿

報告書

第三種補給生 鈴江 言

第三種補給生規程に遵ひたる如く年度末報告仕り候

昭和九年十二月一日

對支文化事業部長 岡田 兼一 殿

一、既に提出せる「研究題目並其方法」により、専ら史料の閱讀と必要なる筆寫に従事せり。

二、引用並參考の爲め必要と考ふる部分の筆錄を完了せるもの、即別紙目錄の如し。但し、其大半は補給生たる以前に略終了したるものにして、洋書中の一部は上海海關圖書館藏書に、其他は専ら北平圖書館藏書に依頼せり。

三、參考書としては兎に角、引用書は所謂「兒孫」書を拒否し、凡そ根本原書に據るを原則とせり。

四、支那書に於ては、残されたる一部基本書の外、各県地誌——北京、五港及長江中下流を中心とする——、各種隨筆、光緒初年の申報の一部を引續き閱讀抄寫するを必要とす。

五、洋書はやくやく豫定目錄の三分の一強に達したるに過ぎず、特に「チャイナ・ヘラルド」英議會の必要なる報告、其他佛米外交文書の必要なる部分、支那に活躍せる各國宣教師の著述の多數筆々重要なものを残せり。

以上

拳時上諭
庚子北京事變紀略
拳禍記
鴉片事略
清代文字獄檔
東方兵事紀略
大同書
共和平議
鐵路紀略
勸學篇
光緒會計表
中山全集
戊戌政變記

日本通國考
學政全書
沈文肅公政書

支那書

東華錄 康熙、乾隆、雍正
同績錄 嘉慶以下光緒
大清會典
大清通考
八旗則例
中樞政考
皇朝續文獻通考
聖祖聖訓
高宗 “
世宗 “
大清律例
明史
清史稿
明季實錄
明通鑑
明夷待訪錄
明季遺聞
曾文正公全集
李文忠公 “
張文襄公 “
翁惠敏公奏議

嘉慶年諭摺
中外大略
中西紀事
中俄交界紀
光緒政要
欽定剿平捻匪方略
平定教匪紀略
湘軍記
湘軍志
洋事記冊
敘務紀略
燕京開教略
洋兵記略
石渠餘錄
太平天國史料
太平天國野史
三朝夷務始末
康熙羅馬使節關係文書
清代(嘉道)外交史料
文獻叢編
清史外交史料

BOOKS IN THE VARIOUS COUNTRIES

Robert Fortune--- Two visits to the tea countries of China. 1853.
 R.H.Graves--- Forty years in China. 1895.
 Clarke Abel--- Narrative of a journey in the interior of China (1816-17).
 S.W.Williams--- Middle kingdom. 1861.
 An old resident--- 'Tan Kwae' at Canton. 1880.
 H.A.Giles--- Chinese sketches. 1876.
 E.C.Baber--- Travels and researches in western China. 1882.
 Sir John Francis Davis--- China. 1857.
 Alexander Wylie--- Chinese researches (1815-87). 1897.
 K.S.Latourette--- History of christian missions in China. 1929.
 Alexander Michie--- China and christianity. 1892.
 J.Timkowski--- Travels of the Russian mission through Mongolia to China and... 1827.
 Robert Morrison--- A view of China. 1816.
 Sir Henry Ellis--- Voyage en Chine. 1818.
 J.Grosier--- De la Chine. 1818.
 B. Alexandre--- La Chine et Chinois.
 Beauvoir Ludovic--- Java, Siam, Canton. 1869.
 S.Julien--- Industries anciennes et modernes de l'Empire Chinois. 1869.
 The Chinese Repository. v.1-20.
 The Chinese Recorder. 1874-1900.
 A.F.Lindley--- Ti-ping Tien Kwoh. 1866.
 Coloner Fisher--- Personal narrative of three years' service in China. 1863.
 T.T.Meadows--- The Chinese and their rebellions. 1856.
 Gen.Gordon--- General Gordon's private diary of his exploits in China. 1885.
 A.E.Moule--- Personal recollection of the Taiping rebellion.
 M.T.Yates--- The Taiping rebellion.
 Christian Spämann--- Die Taiping revolution in China. 1800.
 L.Brine--- The Taiping rebellion in China. 1862.
 J.Callery--- History of the insurrection in China. 1853.
 A.Millac--- Les Français à Changhai en 1853-55. 1888.
 F.S.Turner--- British opium policy. 1876.
 Sir Edward Fry--- England, China and opium. 1878.
 J.S.Hill--- The Indo-chinese opium trade. 1884.
 A.B.Wiselius--- Opium in Nederlandsch en in Britisch-Indie.

-2-

Sir G.L.Staunton--- An authentic account of an embassy from the king of G.B. to the Emperor of China. 1797.
 Thomas Percy--- Miscellaneous pieces relating to China. 1762.
 Sir G.L.Staunton--- The Miscellaneous notice relating to China (1822-50).
 Braam Monckgeest--- Voyage de l'ambassade la compagnie des Indes, orientales Hollandaises vers l'empereur de la Chine. 1793.
 J.Ogilby--- An embassy from the E.I.Co.. 1669.
 Aeneas Anderson--- Narrative of the B. Embassy to China. 1795.
 Sir Henry Ellis--- Journal of the proceedings of the late Embassy to China. 1817.
 R.M.Martin--- China. 1847.
 J.Ouchterlong--- Chinese war. 1844.
 J.Slade--- Narrative of the late proceedings and events in China. 1839.
 G.Pauthier--- Histoire des relations politiques de la Chine. 1859.
 H.Cordier--- L'expédition de Chine de 1860. 1905.
 M.Girard--- France et Chine. 1869.
 C.S.Leavenworth--- The Arrow war with China. 1901.
 L.Oliphant--- Narrative of the Earl of Elgin's mission to China and Japan. 1859.
 Robert Sears--- China and India. 1853.
 Diplomats corps in Peking. (1893-1904).
 Francis Younghusband--- India and Tibet. 1910.
 Rudolf Zabel--- Deutschland und China. 1902.
 H.B.Morse--- E.I.C.o trading to China.
 International relations of the Chinese Empire.
 MacMurry--- Treaties and Agreements with and concerning China.
 Maritime customs report on trade annually since 1864.....

H-0508

0101

公	信	案
鈴江言ニ付シ研究旅行費トシテ金 四百圓也ヲ補給スルコトニ決定シ該金 昭和十年度付支文化事業特別會 計事業費ノ項 留學生給与ノ目ヨリ 資金前渡トシテ送付シタルニ付本人ニ 交付ノ上支拂 証明ヲ成ヌ		
追テ研究旅行終了ノ上ハ報告書提出セヨトモ 外務省		

會計課長	文書課長	文書課發送	昭和十一年七月四日	發送	淨書	正校(原稿)	昭和十一年六月廿九日起算
管主	文化事業部長	任主	文化第一課長	林			
文化機密	第一	大	號	昭和十一年七月四日	日附	附屬	
收入支出	檢査掛	鏡					
出納掛							
受	信	人	名	件	錄	記	
在北平							
若杉参事官							
廣田大臣							
本件ニ関シ六月十三日附機密第四〇五号							
貴信ヲ以テ申越シ候了業仍リ							
公	信	案					
外務省							

H-0508

0103

鈴江言
補給期間
自九年四月
至十年三月
(学費金七拾圓
手当金拾圓)
推薦者
瀬川 誠之佳
研究題目
清末史
研究地
北平

利
北
平



文化事業部

第一課

昭和拾年六月廿四日接受

機密第四〇五號

別紙添附

昭和十年六月十三日

在中華民國日本大使館

大使館參事官 若 杉



外務大臣 廣 田 弘 毅 殿

第三種補給生鈴江言一研究旅行許可方
稟申ノ件

今般當地留學中ノ第三種補給生鈴江言一ヨリ八月初旬當地發約三ヶ月ノ豫定ヲ以テ上海、南京及南支諸地方ニ研究旅行ヲ致度趣ヲ以テ別添文化事業部宛旅行願轉達方願出アリタル處願書中ニモ記載ノ通上海ニ二ヶ月間滞在ノコトナリ居ルモ右ハ同人ノ研究題目ニ鑑ミ

在中華民國日本公使館



519

已ムヲ得サルモノト認メラルルニ付其ノ願意達成方御詮議ノ上結果何分ノ儀御回示相煩度此段稟申ス

在中華民國日本公使館

H-0508

0104

旅行願

第三種補給生 鈴江言一

今次別紙ノ目的、目的地、日程並經費概算ヲ以テ
中南支地方ニ研究旅行致度候ニ付御許可相成度此段
申請候也

昭和十年五月廿日

H-0508

0105

旅行の目的及目的地

- 一、上海々関圖書館に於て、ノース・チャイナ・ヘルドの必要部分の筆記
- 二、同、既し筆記を終れる一八六四年以降の海關各種統計数字の校訂
- 三、江湾鉄道建設、イリ条約、清佛戦争、團練事件を當時に於ける「申報」記事中必要部分の筆記
- 四、徐家匯天文台に於ける初期カリソニック・ミッションナリ活動に關する文献の閲讀
- 五、南京檔案保管委員會に於ける必要なる文献の閲讀
- 六、清代外國貿易の歴史的諸港、寧波、杭州、香港、マカオ、廣東の見學

旅行の日程（八月初出發十月末帰燕）

- 一、上海滞在二月、此間餘暇に杭州、寧波を見學
- 二、南京滞在二週間（必要なる場合は三週間）
- 三、最後に香港、福州、アモイに定航する支那船又は英船を選ぶ、廣東に到り、滯留一面日にてマカオ迄の航上海に帰航
- 四、上海より陸路便にて北返

旅行費用概算

- 一、交通費（鉄道は三等、船は所謂支那人一等と称せらるる三等地位）
 - 上海北平間往復汽車賃 四七・八元 食費、其他道中雜費、一二元
 - 上海杭州寧波間同 五・二元 食費、雜費、杭寧各滞在一日經費、一五元
 - 上海南京間同 六・三元 道中食費、雜費、三元
 - 上海廣州間同（各處寄航分共） 五・〇元 道中雜費、二〇元
 - 計 一五九・三元
- 二、上海滞在費
 - 下宿費二月分 一〇〇元 交通費を主とする各種雜費 四〇元
- 三、南京滞在費
 - 下宿費三週同分 四〇元 雜費五元

總計 三四四・三元（日金七十元の標準に於て約四九〇圓）

備考

以上の計算は最小限度の豫算を示すものにして、加増出費、其他私的支出は定例補給金を以て填補する豫定。

文化事務部長

第一課

機密第八〇三號

昭和十年十二月三十日

在中華民國（北平）

大使館一等書記官 武藤義



別紙添付

文
第二課

外務大臣 廣田 弘毅 殿

第三種補給生鈴江言一ノ研究旅行
報告書送付ノ件

當地留學中ノ文化事業部第三種補給生鈴江言一ノ留學第二年度報告書ハ本年十二月二十日附機密第七九一號拙信ヲ以テ送付致シ置キタル處今般同人ヨリ本年八月三十日北平發同十二月十一日歸平此間約

在中華民國日本大使館

十五週間専ラ上海ニ於テ所要資料文獻ノ閱讀研究ニ從事シ居リタル趣ヲ以テ別紙研究旅行報告書轉送方願出アリタルニ付茲許送付ス御査閱相成度

在中華民國日本大使館

H-0508

0107

研究旅行報告書

第三種補給生

鈴江言一



昭和十年八月廿日より十二月十日に至る往返約十五週間の旅行に關し尤の如く報告致候也

昭和十年十二月十九日

外務省東方文化事業部長岡田兼一殿

一、八月廿日北平出發、南來十二月十日北返するまで終始上海に滞在し、専ら海國圖書館、ローヤルアジアティック・ソサイエティ圖書館、上海自然科學研究所圖書館、ハーボン氏圖書館に於て、所要資料文献の閱讀に従事せり。此間南京に三日間滞在し、檔案保管委員會を通じて其所藏資料の閲覧を求めたるも、一部が今尚北平にあり、且整理中の故を以て、目的を達し得ざりき。随つて今回の旅行中支那書の閱讀を了せるものは、私人藏書に係る尤の數種に留る。

『嘯亭雜錄』 清史稿野錄 廟間音筆記
春水堂野乘 國政野獲編 廣東通志

二、最初の旅程は香港廣東の行を含め、これは実行せず、僅かに上海滞在中、杭州甯波への五日間の旅行を、試みたるに留まる。蓋し、旅行の唯一の目的は「資料、文献」に在り、然かも上海滞在日時不足を痛感せる際として、單なる見聞旅行に過ぎざる南方沿岸訪問を中止して、之れを上海滞在日數に加へたり。上海に於ける工作は、全旅程豫定日數を約一ヶ月延長せるに拘はらず、時日の不足のため、豫定せる先緒初年の「申報」閱讀を果たさざりしのみならず、別紙目錄中にも述べたる如く、*North China Herald* の閱讀を完了し得ざりき。

三、本旅行の目的たる明末清時を通ずる西政文献資料の閱讀と必要部分の筆記に關し、其工作を完了せるもの別紙目錄の如し(終)

Concerning the Literature
and Material for the Chinese History in
European Languages --- all those which
had been read and with their necessary
parts taken notes during my stay at Shanghai.

1. Most of the literatures and materials for the Chinese history in the table A and B belong to the Library of the North China Branch of the Royal Asiatic Society and the Customs Reference Library. Although many important materials could be found in the collection of Mr. S.A. Hardoon, no urgent need for its utilization was felt; for most of them I could find in the above two collections.

2. It had been one of the primary aims of the last trip to read in the Zikawei Observatory the works of those catholic missionaries who stayed in China during the time of the Ming and the Ching dynasties. Unfortunately however, inspite of the recommendation of ~~the~~ Consul at Shanghai, I was only allowed, by the reason of rearrangement, the chance to admire the equipment and ornamentation inside the building. As for myself, I still feel the pressing need to find some way for having the entree of the Library.

3. Owing to the time limit, I was only able to note the necessary parts of the North China Herald from 1852 to 1863 while those came following were left untouched.

4. Table A had been taken from 'The Report of the Second Year Work' which was delivered up on Oct. 28. The mark * indicates the second reading and taking notes of those materials which were not taken down in the first reading.

5. In this trip I had an opportunity to correct my notes of the statistics in the Custom's Reports (1864-1911), which I had already copied three years ago.

G. Sugaya

TABLE A

- W.D.Bernard--- Narrative of the voyage and services of the
Nemesis. 1844
J.Elliot Bingham--- Narrative of the expedition to China,
2nd edition. 1844
William Milburn--- Oriental commerce. 1813
Henry Sultzberger--- All about opium. 1884
J.Barrow--- Travels in China. 1805
J.Scarth--- Twelve years in China. 1860
J.Edking--- Religious condition of the Chinese. 1859
The Annual Report of Trade, 1859-1863
Journal of the Royal Asiatic Society, no.1, VII, XII, XIX.
Journal of the North China Branch of the Royal Asiatic
Society, new series, no.1V, VIII.
Captain Authur Cunynghame--- The Opium War, 1845
C.Toogood Downing--- The Fan-qui in China in 1836-1837. 1838
J.W.Maclellan--- The story of Shanghai. 1889
Authur J.Brown--- The Report of a visitation of China missions.
1901
John Oxenford--- The insurrection in China, 3rd edition. 1854

British Parliamentary Papers:

- Report from the Select Committee on the trade with
China. 1840
Relating to the Opium trade in China, 1842-1856. 1857
Return of Opium exported to China from central India
via Bombay since the year 1830... and similar return
from Bengal... 1865
Returns to an order of the House of Lord's, relating
to the British trade with China in each year since
1833. 1857
Accounts of all goods the produce of the East India and
China, imported into G.B.. 1820
Relating to trade with India and China. 1829
A return of the foreign trade with China. 1831
An Accounts of the quantity and value of Opium, woolens,
cotton-goods, and all other articles imported into
Canton, and of tea and other articles, and of
treasures, exported from China. 1840
Relating to affairs of the E.I.CO., and trade between
G.B., East Indies, and China. 1830
Returns of trade at the ports of Canton, Amoy, and
Shanghai, for the year 1844. 1845

Returns of the trade of the various ports of China, down to the latest period. 1847
Returns of the trade of the various ports of China for the year 1846. 1847
Returns of the trade at Canton and Hongkong, 1847. 1848
Returns of the trade of the various ports of China for the years 1847 and 1848. 1849
Respecting the civil war in China. 1853
Relating to the rebellion in China and trade in the Yang Tze-kiang River. 1862

Further Papers relating to the rebellion in China, in continuation of Papers presented to Parliament, May 2. 1862

Relating to the affairs of China. 1863
Copy of correspondence and Papers relating to the establishment of telegraphic communication between India, Singapore, China and Australia. 1863

An account showing the sums voted in each year since 1857... and statement of the sums received on account of the China indemnity, under treaty of Peking 1860. 1863

Copy of all orders in council, or consular ordinances in China for the punishment of breachers of neutrality. 1864

Correspondence relating to Lieut-colonel Gordon's position in the Chinese service. 1864

Relating to the Earl of Elgin's special missions to China and Japan 1857-1859. 1860

Correspondence respecting the fitting out, dispatching to China and ultimate withdrawal, of the Anglo-Chinese fleet under the command of Captain Sherard Osborn.... 1864

Respecting the foreign Customs establishment in China. 1865

TABLE B

- * J. Slade--- Narrative of the late proceedings and events in China. 1839
- Archdeacon Moule--- Personal recollections of the Tai-ping rebellion, 1861-1863. 1898
- A.E.Hake--- Events in the Taiping Rebellion. 1891
- D.C.Boulger--- History of China. 1884
- Robert Swinhoe--- Narrative of the North China Campaign of 1860. 1861

Henry Brougham Loch--- Personal narrative of occurrences during Lord Elgin's second embassy to China in 1860. 1860 (3rd edition)

Laurence Oliphant--- Narrative of the Earl of Elgin's mission to China and Japan in the years 1857, 1858, 1859. 1859

Saxe Bannister--- A journal of the first French Embassy to China, 1698-1700, translated from an unpublished manuscript. 1859

Pere J.B. de Halde--- Histoire de la Chine, Tom. III. 18...?

* Chinese Repository, vol. 1-XII

Robert Fortune--- A residence among the Chinese, 1853-1856. 1857

W.C. Millne--- Life in China. 1857

* Lindesay Brime--- The Taiping Rebellion in China. 1862

* S.F. Lindley--- Ti-ping Tien-kwoh. 1866

Donald Ferguson--- Letters from portuguese Captives in Canton, written 1534 and 1536. 1902 (reprinted from the Indian Antiquary)

~~John~~

Peter Osbeck--- A voyage to China and the East Indies. 1770

Thomas Blakiston--- ~~Journal~~ Five months on the Yang-tsze. 1862

David Abeel--- Journal of a residence in China and neighbouring countries from 1830 to 1833. 18...?

Jean Nieuhoff--- L'Ambassade de la Compagnie Orientale des provinces unies vers l'Empereur de la Chine..... 1665

James F. Roche--- The French at Foochow. 1884

North China Herald, 1852-1863

-End-

發信用		執務用	
主信	1.		1.
附甲			
乙			
丙			
丁			
備考	5	7	

文書課長		文書課發 昭和拾壹年壹月拾日 發送済		淨書 原		正校(原稿)		昭和十一年一月七日起草	
管主 文化事業部長了		任主 第一課長 林		文化一機密 第四七號		昭和十一年一月九日		附屬	
受信人 代々木山石一一〇		名件録記		名信發 岡田文化事業部長					
瀬川浅之進		第三種補給生鈴江言一、留學期間延長方案二件		事件 附 今般北平武藤大使館		一等書記官より貴殿所推薦二件			
公信案		外務省							

9 133

在支第三種補給生鈴江言一、留學
期間延長方案二件、申越、次々あり
たに依り詮議、結果同人、留學
期間、十年延長、昭和十一年三月
満了、付、右様所承知相成、此
般申進ス

公信案

外務省

H-0508

公 信 案

外 務 省

了承仍予詮議、結果同人ノ留學期
間ヲ本年延期、昭和十二年三月滿
返國長
右様御了知、上此、旨
本人、所傳達相成、

發信用執務用	
主 信	1.
附 甲	
乙	
丙	
丁	
備考	5.7

文 書 課 長		文 書 課 發 送 済		淨 書		正 校 (原 稿)		(附 書)	
文 書 課 發 送 済		昭和拾壹年壹月拾日		發 送 済		和 十 一 年 一 月 七 日		附 屬	
主 管		文化事業部長		主 任		第一課長		井	
文化一機密第		號		昭和拾壹年壹月九日		附 屬			
名 人 信 受		中華民国(北平)		武藤書記官		名 人 信 發		廣田大臣	
名 件		第三種補給生鈴江言一、留學期間延長方面之件		名 件 錄 記					
公 信 案		本件ニ関シ昭和十年十二月二十日接密		第七九一號貴校ヲ以テ御申越ノ趣		外 務 省			

9 132

H-0508

0112

齊

11.1.6

文化
11.1.6
事業部

文化事業部

第一課

昭和十年十二月二十日

在中華民國（北平）

大使館一等書記官

武藤義



別紙添附

昭和十年壹月六日 接受

外務大臣 廣田 弘毅 殿

第三種補給生鈴江言一ノ留學期間延長方稟請ノ件

當地留學中ノ文化事業部第三種補給生鈴江言一ノ留學期間ハ昭和十一年三月ヲ以テ滿了トナル處今般同人ヨリ留學期間ヲ更ニ一ケ年延長方御詮議相仰度趣ヲ以テ別添補給期間延長願及第二年度工作報告書轉送方願出ノ次第アリタルカ同人ハ從來當地ニ在リテ眞面目ニ研究ニ從事シ居リ其ノ成績亦見ルヘキモノアルニ付委細右ニ付御諒承

在中華民國日本大使館

ノ上御詮議ノ結果何分ノ儀御同示相煩度此段稟申ス

在中華民國日本大使館

H-0508

0113

補給期間延長願

第三種補給生

鈴江言

私儀

明年三月を以て補給生期間第二年度満了仕
候に就ては更に一年の延長御許可相成度別紙
報告書所述の理由の下に此段請願候也

昭和十年十月廿八日

對支文化事業部長岡田兼一殿

H-0508

0114

第三年度工作報告書

第三種補給生

鈴江言一

松儀

第一年度報告後既に満一年を経過候に付、目下研究旅行の途中に候へど、補給生規定に遵ひ此に第二年度の報告仕り候

昭和十年十月廿八日

對支文化事業部長岡田兼一殿

報告

一、研究方法は前年度報告のそれを踏襲し、引續き参考文献の閱讀と其必要なる部分の筆記に従事せり。隨て、閱讀圖書及史料は最權威あるもの例へば、露支交通史に関する "Russian, Mongolia, China, by J. F. Boddley, 1919, London" 等の一、二例外を除きは一切後代の編輯的新産を避け、直接のものに據れり。其過去一年間(旅行出發前に終る)に終るもの、即別紙目錄の如し。

二、九月一日上海到着後、專ら海關圖書館及ローヤル・アジアチック・ソサイティ上海支部圖書館に於て、前述工作に従事しつゝあるが、其十月末に於て完了せるもの、即別紙目錄の如し。

今後尙當地に於て、未完るに屬する政未直接の外交其他の各種資料文献、往時の新聞雜誌の必要なる閱讀に従ひ、其完了後、豫定の旅程を順路北歸せんと欲す。

三、北歸後は、専ら閱讀未了の支那側諸文献、雜史書、
必要なる旅行記、隨筆、更らに特定地方の縣志、通志等に對し
同様の工作を繼續すべきものとす。

四、此種の準備の終了と共に其整理の爲め、今後尚一ヶ月を稍
超ゆる時日を必要なりと考慮す。

以上。

完了支那書目録

東華錄名代(蔣良騏)
同(王先謙)
同錄錄
大清會典
大清通考
大清律例
八旗則例
中樞政考
聖朝續文獻通考
聖祖聖訓
高宗同
世宗同
明史稿(王鴻緒)
清史稿
明季實錄

明通鑑
明季遺聞
曾文正公全集
李文忠公同
張文襄公同
曾惠敏公奏議
嘉慶年續摺
中外大略
中西紀事
中俄交界紀
光緒政要
欽定剿平捻匪方略
平定教匪紀略
湘軍記
湘軍志

洋事紀冊
教務記略
燕京開教略
洋島記略
石渠餘錄
太平天國史料
太平天國野史
三朝夷務始末(張曾敭撰)
康熙馬便節國信文書(同)
清代(嘉道)外交史料(同)
文獻叢編(同)
清季外交史料
拳時上諭
庚子北京事變紀略
清代文字獄檔(故宮)

東方各事紀略
大同書
共和平議
鐵路紀略
觀學篇
光緒會計表
中山全集
戊戌政變記
日本通中國考
學政全書
沈文肅公政書
以上廿一年度報告分
以下卽廿二年度分

滿洲實錄
夷氛圖記略
庚申夷氛紀略
逆黨禍蜀記
倭匪雜錄
倭氛紀事
洪楊類纂史料
武昌紀事
軍興本末紀略
防海紀略
靖海紀事
平定紀略
台灣鄭氏始末
庭聞錄
清三藩史料(故宮)

皇清閩方略
甯寧雜錄(上海)
清史叢刊(同)
庸問奇筆記(同)
春水堂野乘(同)
國故野獲編(同)

Respecting the civil war in China. 1853
 Relating to the rebellion in China and trade in the Yang
 Tse-kiang River. 1862
 Further Papers relating to the rebellion in China, 1862
 Further Papers relating to the rebellion in China, in continu-
 ation of Papers presented to Parliament, May 2. 1862
 Relating to the affairs of China. 1863
 Copy of correspondence and Papers relating to the establishment
 of telegraphic communication between India, Singapore,
 China and Australia. 1865
 An account showing the sums voted in each year since 1857..
 and statement of the sums received on account of the
 China indemnity, under treaty of Peking 1860. 1863
 Copy of all orders in council, or consular ordinances in China
 for the punishment of breachers of neutrality. 1864
 Correspondence relating to Lieut-colonel Gordon's position
 in the Chinese service. 1864
 Relating to the Earl of Elgin's special missions to China and
 Japan 1857-1859.
 Correspondence respecting the fitting out, dispatching to China
 and ultimate withdrawal, of the Anglo-Chinese fleet
 under the command of Captain Sherard Osborn... 1864
 Respecting the foreign Customs establishment in China. 1865

AUTHUR SMITH---CHINA AND AMERICA TO-DAY. 1907
 REPORT OF WILLIAM ROCKHILL (U.S.A. COMMISSIONER TO CHINA, 1900-1901). 1901
 WILLIAM MILNE---RETROSPECT OF THE FIRST TEN YEARS OF THE PROTESTANT MISSION
 TO CHINA. 1820
 J. KLAPROTH---MEMOIRES RELATIFS A L'ASIE. 1824
 HIPPOLYTE GANTIER---LES FRANCAIS AU TONKIN, 1787-1884. 1884

The list of the Foreign Books (B)
 --which have been completed in taking necessary
 notes at Shanghai (during two months from
 the beginning of September to the end of
 October, this year.)

W.D. Bernard--- Narrative of the voyage and services of the Nemesis. 1844
 J. Elliot Bingham--- Narrative of the expedition to China, 2nd edition. 1844
 William Milburn---Oriental commerce. 1813
 Henry Sultzberger--- All about opium. 1884
 J. Barrow--- Travels in China. 1805
 J. Scarth---Twelve years in China. 1860
 J. Edkins--- Religious condition of the Chinese. 1859
 The Annual Report of Trade, 1859-1863
 Journal of Royal Asiatic Society, No.1, VII, XII, XIX.
 Journal of the North China Branch of the Royal Asiatic Society, new series,
 No. IV, VIII.
 Captain Authur Cunyngame--- The Opium War. 1845
 C. Toogood Downing--- The Fan-qui in China in 1836-1837. 1838
 J.W. Maclellan--- The story of Shanghai. 1889
 Authur J. Brown--- Report of a visitation of China missions. 1901
 John Oxenford--- The Insurrection in China, 3rd edition. 1854

British Parliamentary Papers:

Report from the Select Committee on the trade with China. 1840
 Relating to the Opium trade in China, 1842-1856. 1857
 Return of opium exported to China from central India via Bombay
 since the year 1830... and similar return from Bengal... 1865
 Returns to an order of the House of Lord's, relating to the
 British trade with China in each year since 1833. 1857
 Accounts of all goods the produce of the East India and China,
 imported into G.B.. 1820
 Relating to trade with India and China. 1829
 A return of the foreign trade with China. 1831
 An accounts of the quantity and value of opium, woollens,
 cotton-goods, and all other articles imported into Canton,
 and of tea and other articles, and of treasures, exported
 from China. 1840
 Relating to affairs of the E.I.Co., and trade between G.B.,
 East Indies, and China. 1830
 Returns of trade at the ports of Canton, Amoy, and Shanghai,
 for the year 1844. 1845
 Returns of the trade of the various ports of China, down to the
 latest period. 1847
 Returns of the trade of the various ports of China for the year
 1846. 1847
 Returns of the trade at Canton and Hongkong, 1847. 1848
 Returns of the trade of the various ports of China, for the
 years 1847 and 1848. 1849

A.Millac--- Les Francais a Shanghai en 1853-1855. 1888

F.S.Tarner--- British opium policy. 1876
Sir Edward Fry--- England, China and opium. 1878
J.Ouchterlong--- Chinese War. 1844

FREDERICK FORBES--- FIVE YEARS IN CHINA, 1842-1848. 1848

Sir G.T. Staunton--- An authentic account of an embassy from the king
of G.B. to the Emperor of China. 1797

Thomas Percy--- Miscellaneous pieces relating to China. 1762
Sir J.T. Staunton--- Miscellaneous notice relating to China, 1822-1850
Braam Honckheest--- Voyage de l'ambassade la compagnie des Indes,
Orientales Hollandaises vers l'empereur de la Chine. 1798

J.Ogilby--- An embassy from the E.I.Co.... 1669
Aeneas Anderson--- Narrative of the British Embassy to China. 1795
Sir Henry Ellis--- Journal of the proceedings of the late Embassy to
China. 1817

R.M. Martin--- China. 1847
J. Slade--- Narrative of the late proceedings and events in China. 1839
G. Pauthier--- Histoire des relations politiques de la Chine. 1859
H.B. Morse--- E.I.Co. trading to China.
,, , , --- International relations of the Chinese Empire.

A.T. SARGENT--- ANGLO-CHINESE COMMERCE... 1907
H.H. ROBINSONS--- OUR FIRST AMBASSADOR TO CHINA. 1908
HAMILTON LINDSAY--- LETTER TO PALMERSTON ON BRITISH RELATION WITH CHINA 1836
ROBERT SEARS--- CHINA AND INDIA. 1853
R. MORRISON--- MEMOIR OF THE PRINCIPAL OCCURRENCES DURING AN EMBASSY FROM
G.B. TO THE COURT OF CHINA. 1820

G. Leavenworth--- The Arrow War with China. 1901
H. Cordier--- L'expédition de Chine de 1860. 1905
H. Girard--- France et Chine. 1869
L. Oliphant--- Narrative of the Earl of Elgin's mission to China and Japan. 1859
Diplomatic corps in Peking, 1893-1904
Francis Younghusband--- India and Tibet. 1910
Rudolf Zabe--- Deutschland in China. 1902
Maritime Customs Report on trade annually since 1864....
MacMarry --- Treaties and agreements with and concerning China.

SIR ROBERT DONGLAS--- SOCIETY IN CHINA.
SIR ROBERT HART--- 'THESE FROM THE LAND OF SINIM' ESSAYS ON THE CHINESE
QUESTION. 1901
CLIVE BEGHAM--- A YEAR IN CHINA, 1899-1900. 1901
MAURICE JAMETEL--- PEKING. 1887
HENRY S. LANDOR--- CHINA AND THE ALLIES, 1901
MARQUIS DE MOGES--- RECOLLECTIONS OF BARON GROS'S EMBASSY TO CHINA AND JAPAN?
IN 1857-1858. 1860
D.F. RENNIE--- THE BRITISH ARMS IN NORTH CHINA AND JAPAN. 1864
GILBERT REID--- THE COURCES OF THE ANTI-FOREIGN DISTURVANCES IN CHINA. 1893
ALEXANDER MICHIE--- CHINA AND CHRISTIANITY. 1892

The List of the Foreign Books (A)

--the titles used small letters
show those which have been already
reported, while those used capitals
show those of which I have completed
in taking necessary notes during the
one year ended last August.

Robert Fortune--- Two visits to the tea countries of China. 1857
R.H. Graves--- Forty years in China. 1895

Clarke Abel--- Narrative of a journey in the interior of China,
1816-1817. 1818

S.W. Williams--- Middle Kingdom. 1861
An Old Resident--- 'Pan Kwae' at Canton. 1882

H.A. Giles--- Chinese sketches. 1876

Sir J.F. Davis--- China. 1857

K.S. Latourette--- History of christian missions in China. 1929

Alexander Michie--- China and christianity. 1892

J. Tinkowski--- Travels of the Russian mission through Mongolia to
China and... 1827

Sir Henry Ellis--- Voyage en Chine. 1818

J. Grosier--- De la Chine. 1818

B. Alexandre--- La Chine et Chinois.

Beauvoir Ludovic--- Java, Siam, Canton. 1869

The Chinese Repository, v. 1-20

The Chinese Recorder, 1874-1900

CHARLES GUTZLAFF--- CHINA OPENED. 1838

W.A.P. MARTIN--- A CYCLE OF CATHAY. 1896

J.F. BADDELEY--- RUSSIAN, MONGOLIA, CHINA. 1919

SIR J.F. DAVIS--- SKETCHES OF CHINA. 1841

W.H. MEDHURST--- CHINA. 1838

C. GUTZLAFF--- JOURNAL OF THREE VOYAGES... 183...?

H. MURRAY--- AN HISTORICAL AND DESCRIPTIVE ACCOUNT OF CHINA. 1836

C. GUTZLAFF--- A SKETCH OF CHINESE HISTORY, VOL. 11. 1834

ATHANASE KIRCHER--- LA CHINE. 1667

MIEUX CONNUE--- LA CHINE. 179...?

GUIGNES--- VOYAGES A PEKING. 18...?

ESCAIRAC DE LAUTURE--- MEMOIRES SUR LA CHINE. 1865

LOUIS L'COMTE--- NOUVEAUX MEMOIRES SUR L'ETAT PRESENT DE L'CHINE. 1698

CHIRARDINI--- RELATION DU VOYAGE FAIT A LA CHINE SUR LE VAISSEAU L'

ALPHITRITTE. 1698

ALEXANDRE RHODES--- VOYAGE ET MISSIONS DU ALEXANDRE DE RHODES, NOUVELLE

EDITION. 1854

,, , , --- DIVERS VOIAGES DU P. ALEXANDRE DE RHODES EN LA CHINE. 1666

SIEUR ADAM BRAND--- RELATION DU VOYAGE DE MR. EVERT ISBRAND. 1698

SIR J.F. DAVIS--- CHINESE MISCELLANIES? 1865

GRIFFITH JONE--- THE STORY OF FIFTY YEARS IN CHINA. 1906

A.P. Lindley--- Ti-ping Tien Kwoh. 1866

Colonel Fisher--- Personal narrative of three years' service in China. 1863

T.T. Meadows--- The Chinese and their rebellions. 1859

General Gordon--- General Gordon's private diary of his exploits in China.
1885

A.E. Moule--- Personal recollection of the Taiping rebellion

M.T. Yates--- The Taiping rebellion.

C. Spelmann--- Die Taiping revolution in China. 1900

L. Brine--- The Taiping rebellion in China. 1862

J. Callery--- History of the insurrection in China. 1853

H-0508

0119

二下①

64/海

擇修

只今日教拜受

且亦以無理為所扶

昔做被下事以芳

情或錄扶

以下命々々要與

石地扶為何幸與

則くも下ろく扶

上扶

久松

鈴江言一(年三十八)

研究題目

2.

長小書要史

H-0508

0120

別々もふろりと紙

上決

1. 久松

鈴江言一(年三十八)

2. 研究題目

民小其歴史

多清末則より現代まで

ぶ支那社会主義遷り

全形的の沿革的考

家

3 要求額

五拾円より五拾

4 期る

二十年

5 学歴

研立私立大学の卒業

生と及び及へと支那

決以外英文は勿論

独佛書とも善讀し

若書として改造社出

少学歴

研々私立大学の卒業

生と存じ居へど支那

語以外英文は勿論

独佛書とも善讀し

著書としては改造社出

版の孫文傳、社会科学

辞典中、支那、同

項目

千年の二は一狐の腹

不如何年直ぐ預

辱決

教具

二月二十

日吉

頃首

吉田賢台

付あ

二伸

六日早朝九時前後

H-0508

0122

千年の二は一狐、
路々

不如、何年、直ぐ、預

手、灰

教具

二月、二十丁

日、吉

領、首

吉田賢台

付、あ

二、伸

六、日、早、朝、九、時、あ、後、

解、趨、仕、可、灰

H-0508

0123

和禮者文部
源上貞沙村

H-0508

0124



H-0508

0125

お盛今お
うきやう
司主中戸龍氏
の解し金口堂に
係るまゝと一歩
あふたけり
園公も
さう北あは
まゝに
通し目か
子神人
子

[illegible]

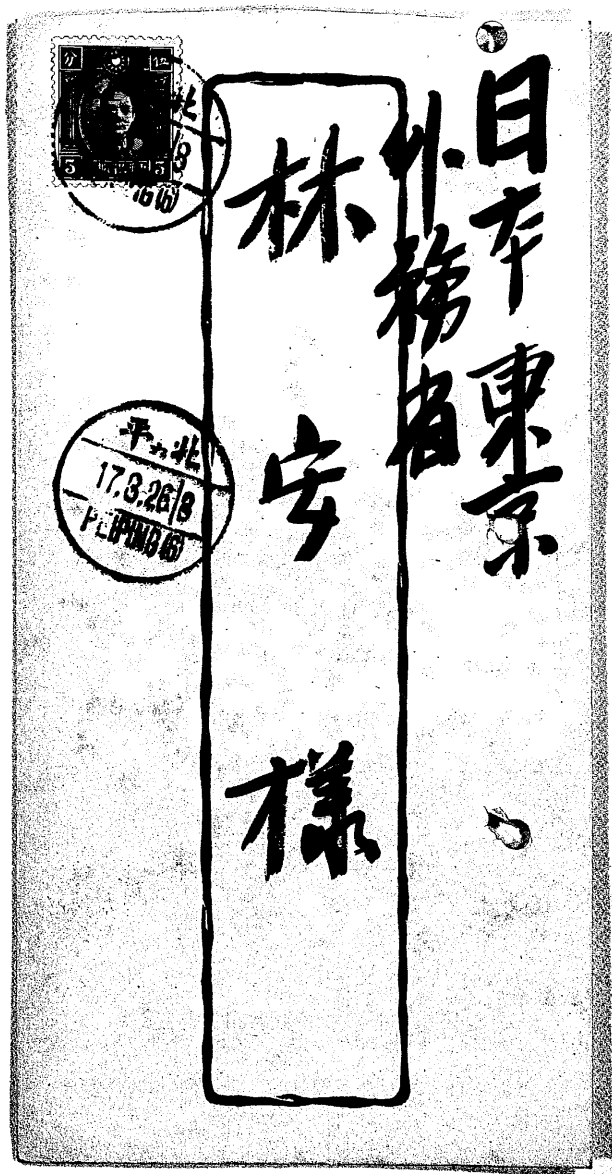
H-0 5 0 8

0127

[illegible]

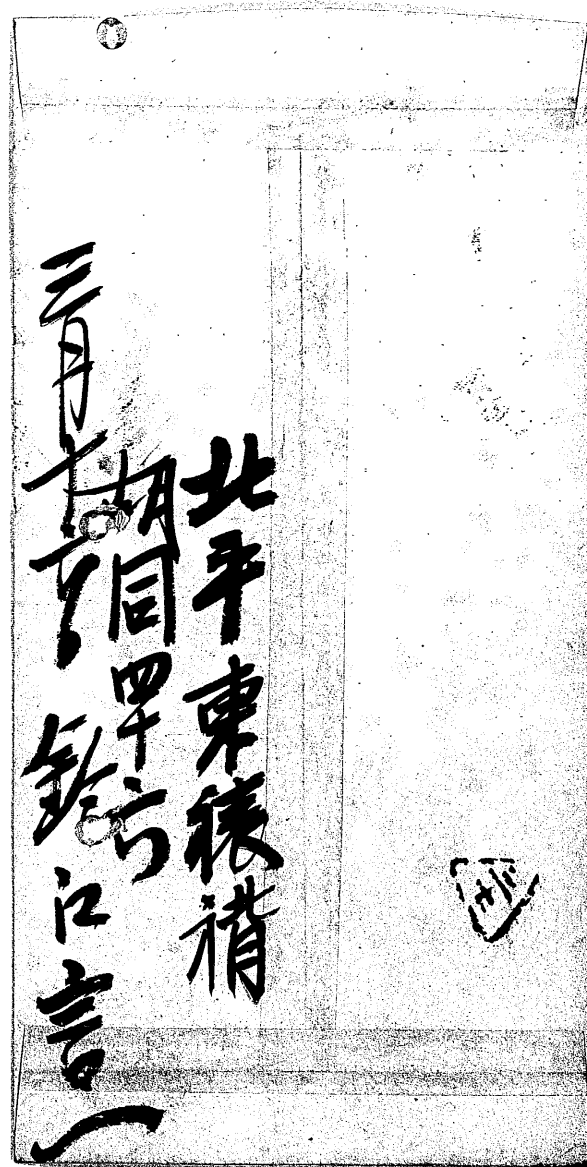
H-0 5 0 8

0128



H-0508

0129



H-0 5 0 8

0 1 3 0

弗

中井
河記

拜啓、健康勝つて公務に専心、此事敬
至りに此座矣。隨者、平常絶えて法無沙
汰に打込る段、實に失禮、最たるも、謹て此訖
申上り奉。又、少生儀、過去三年間、才三種補
給生として専ら研究題目に關する必要な工作に
従事し得ることを以て、此好意、所望と申す
もの常々衷心より感謝申付り奉る、唯生来、
愚鈍、あり一切、進行極く遅。假令井中の

蛙として、安んず相執り申すに、今後尚最り西三年
ノ準備を必要と感ず、始末、此好意に對し、今
更ら申譯、無き限り、之汗顔付る矣。幸にして
中江氏、此尽力を以て、此三月、期限満了と同時
に滿鉄嘱託、名義を得、引續研究に従ふ便
を與へる、事と相成り奉る。此上は勿論、郵馬に
難ず、類に付奉へる。又、初志、貫徹に
努力付、世に高誼、万一にも相添ひ度

方、
此言此禮二併を過云、愚鈍成績

衷心所託申上、度如斯、此座業

敬具

三月十日

銚江言一

林安様

0132

H-0508

H-0508

0133

52

昭和十二年三月八日

文化事業部 機密第一四九號

在中華民國（北平）

大使館一等書記官 加藤 傳次郎

外務大臣 佐藤 尚武 殿

鈴江補給生研究報告書送付ノ件

在當地留學中ノ文化事業部在支第三種補給生鈴江言一ヨリ留學第三年度研究報告書提出アリタルニ付別添轉送ス御査閱相成度

在中華民國日本大使館

昭和十二年三月廿日 接受

別紙添附

津田

文化事業部 12.3.22 事務課

第二課長

津田

報告書

第三種補給生 鈴江 言一

第三回報告(昭和十年十二月)呈出後今日に至る一年間の工作に關し尤の如く報告仕候也

- 一、第一年度及第二年度の研究方法を繼續し、參考文獻史料の閱讀と其必要なる部分の筆記に従事せり
- 二、外國文書並史料に關しは、北平圖書館、上海々國圖書館、ロヤル・アジアチック・ソサイテイ圖書館所藏のものに限り昭和十年末までに大体其閱讀と筆録を終了せり、随つて本報告年度に於て取扱ひたる外國書は僅かに其數種にとゞまる、即

Cordier: Bibliotheca sinica.

Parks: Hakluyt and the English voyagers.

Yule: Cathay and the way thither

尙未完了に屬する洋文史料としては、同治より光緒初に亘るハース・チャイナ・ヘラルドの一部分、フレンド・オブ・チャイナの一部、徐家滙天文台藏書等あれど、之れは今後の機會に於て初志を果したき所存なり。

- 三、漢文書籍並史料に關しは、其正史に屬する限り、過去二ヶ年中に大体閱讀を終了せり、随つて本報告年度に於ては、主として地志隨筆、雜史書に汲頭したり、本報告年度に於て必要なる筆録を了せる此種史料を舉ぐれば尤の如し。

明代倭寇考略	嘉靖禦寇江浙主客軍政
庚子京津拳匪紀略	義和拳教門源流考
庚子義和拳案	庚子拳禁義和拳案錄
拳禍記	拳匪聞見錄(振綺堂叢書)
庚子海外紀事	平原拳匪紀事
西巡大事記(王壽威)	高銘諫庚子日記
近代秘密社會史料(北平研究院刊本)	太宗聖訓
太祖聖訓	仁宗聖訓
世宗聖訓	宣宗聖訓
宣宗聖訓	皇朝經世文編
光緒法令	滿洲源流考
聖武記	明夷待記錄
海國見聞錄	出使英法義比四國日記
瀛壖雜誌	洋防輯要
邊事彙鈔	鴉片戰爭資料(華商書局鈔本)
中興別記	夷舶入寇記(同)
平定海寇方略	庸金筆記
適園叢書	北京新聞彙報(光緒辛丑)
清代官書記明台灣鄭氏之事	農書(元王禎)
欽定授時通考	農政全書(徐光啟)
澤農要錄	陟鉢叢書
無疆逸存文鈔	日知錄(同)
廣東奏辦夷務通商事宜	方輿紀要
中東戰紀本末	日下田聞考

袁項城家集	順天府志 (光緒七年本)
採訪冊	天津縣志 (同治九年本)
浙江通志 (乾隆元年本)	通州志 (光緒五年本)
杭州府志 (光緒廿五年本)	山東通志 (民國四年本)
江南通志 (乾隆元年本)	河南通志 (民國三年本)
澳門記略	山西通志 (光緒十八年本)
福建通紀 (民國十年本)	陝西通志 (雍正十三年本)
福建通志 (同治本)	
廈門志 (道光十九年本)	
廣東通志 (同治三年本)	
廣州府志 (光緒五年本)	
畿輔通志 (同治十年本)	
四、要之、過去三年の補給期間を通じて達成し得たこと(一) 記録せる各種資料を整理し(二) 洋書漢籍史料の基本的 なるものを大體閲讀したることなり、	
五、尚今後の仕事として閲讀筆録に欠かすものは、廿四史 の必要なる部分、經書の必要なる部分、(三) 明代雜史及明末 事情を物語る隨筆遊記類(三) 清代の各種隨筆遊 記の類、	
六、今後一々年を経過せば、才五頃の仕事は從事する所なり 徐々研究題目の稿は筆を執り得べしと信ず、	
昭和十二年一月十日	鈴江言